令和６年度　第１回浦安市立東小学校学校地域連携運営協議会

令和６年５月１日（水）

浦安市立東小学校

会場：体育館会議室

１　校長あいさつ

２　委員の任命

３　委員　自己紹介

４　会長、副会長の選出

　　会長・・・大塚委員　　　副会長・・・秋元委員

５　協議

（１）令和６年度の学校運営の基本方針について

　　　承認

　　　大塚会長：特別支援教育の充実については、非常に良い。交流学習を充実させる方向性と先生方の実践が、例年の運動会などで児童同士が支えあう姿につながっているのだと感じる。

（２）今年度の学校地域連携運営協議会の方向性について

　　　校長　　：地域と連携して、防災訓練などができるよとよいと考える。

　　　熊川委員：以前から話し合っている。様々な組織とかかわって、進めていきたい。

　　　大塚会長：東小に避難する方々で進めていくことが大切。

　　　　　　　　避難所の運営の仕方など、地域ぐるみで進めたほうが良い。

　　　校長　　：地域全体でのイベントとして、保護者にも伝えていきながら、学習にもつなげていきたい。

　　　　　　　　地域と協力して進めていくことができるよう、方向性を整えていきたい。また、実働的組織の編成も進めていく必要がある。

（３）学校運営に期待することについて

　　　浅沼委員：学校教育目標の「しなやかに生きる」部分の考え方が、教職員に共有されているのは大切なことと感じる。

　　　　　　　　地域防災や避難訓練など学校と地域の考えが、お互いに有益になることが大切で、最後は子どもたちの成長を助ける。

　　　熊川委員：学習に支援を必要とする児童は、一度遅れると遅れ続けてしまう。そうならないよう早めの支援をしてあげてほしい。

　　　　　　　　防災については、３・１１の時も苦労した。その時のことを踏まえ、横のつながりがあることが大切考えている。

　　　池野委員：挨拶ができる子になってほしい。

　　　　　　　　家の近くで会っても、下を向いてしまう子が多い。

　　　　　　　　子どもは、元気であることがまず一番大事。

　　　校長　　：挨拶は大切と考えている。

　　　　　　　　昨年より、よく挨拶するようにはなった。今年度の初めに全校児童に挨拶の話をし、来校しているお客様にも挨拶ができるとよいということを伝えた。

　　　　　　　　コミュニティースクールの機能を活用して、このあたりについても地域・家庭とも連携し、引き続き挨拶ができる元気な児童を育成していく。

６　その他

（１）今後の予定について

　　　第２回：　８月２８日（水）中学校区全体会

第３回：１１月

第４回：　３月